



外国出張報告書

平成 27 年 7 月 14 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 27 年 5 月～7 月
3. 出張目的 インドシナ半島地域における家畜飼料基盤の確立（新品種登録に関する業務を含む）：C

4. 成果の概要

ワークショップにおける国立ラオス大学のカウンターパートの発表について発表内容の確認およびプロシーディング、スライドの指導を行った。また、ワークショップ当日は各種運営に関する業務をおこなった。畜産研究センターでのビール粕を用いた牛への給与試験の結果、ビール粕給与によって増体量の増加が認められ、ナムアン村での実証試験に向けた調整を開始した。また、品種登録中のブラキアリアを用いた調査・試験を畜産研究センターで開始した。トウモロコシの牛への給与試験実施のため圃場に播種を行い、一部雨による種子の流失がみられたが良好な生育を示した。国立ラオス大学におけるキャッサバのサイレージ化に関する実験は継続中であるが、今後 Mulato2 の青刈り給与及び放牧飼養におけるサイレージ飼料の併給方法を検討していくこととなった。牛糞施用の陸稲への影響に関する試験については農業研究センターで継続中である。タイにおける Br203 の品種登録については日本国内での職務発明審査会の開催が帰国後となったため業務の必要性が生じなかった。